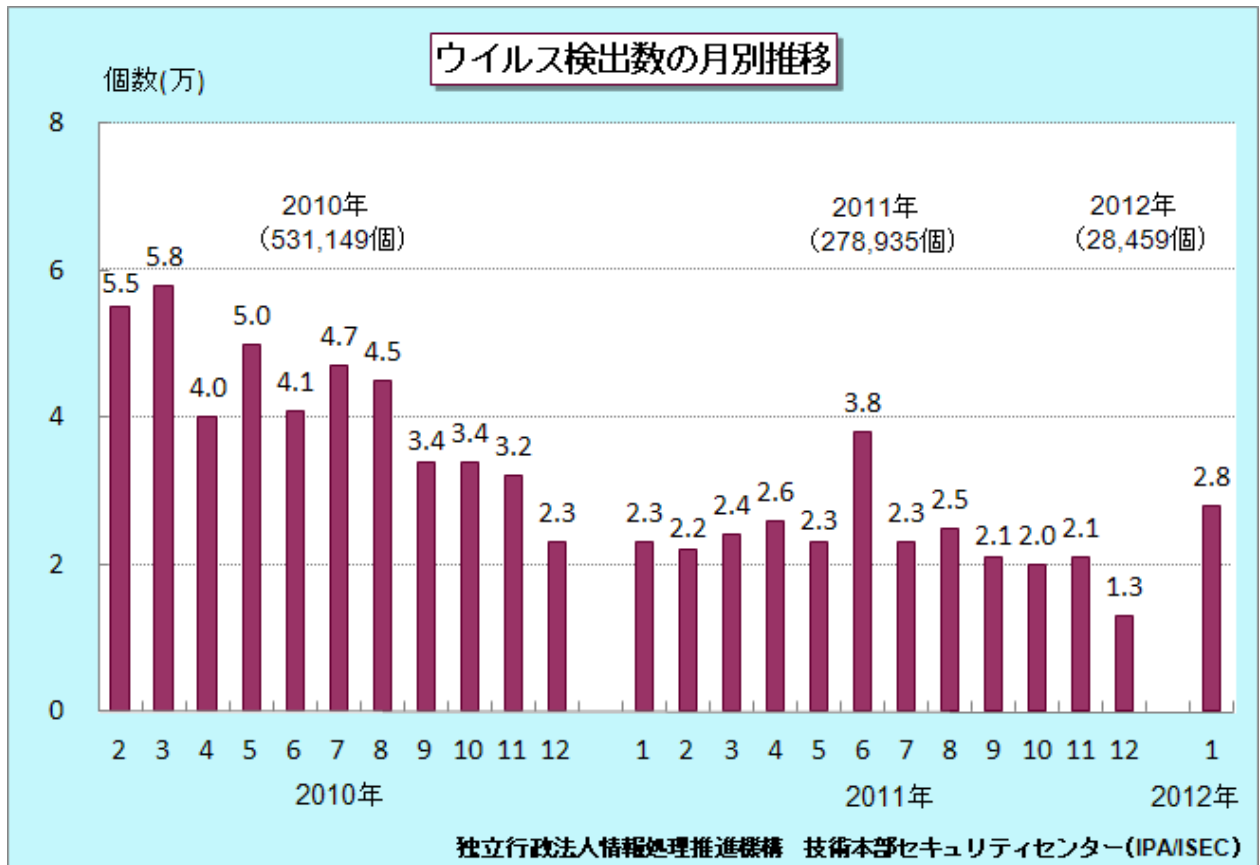
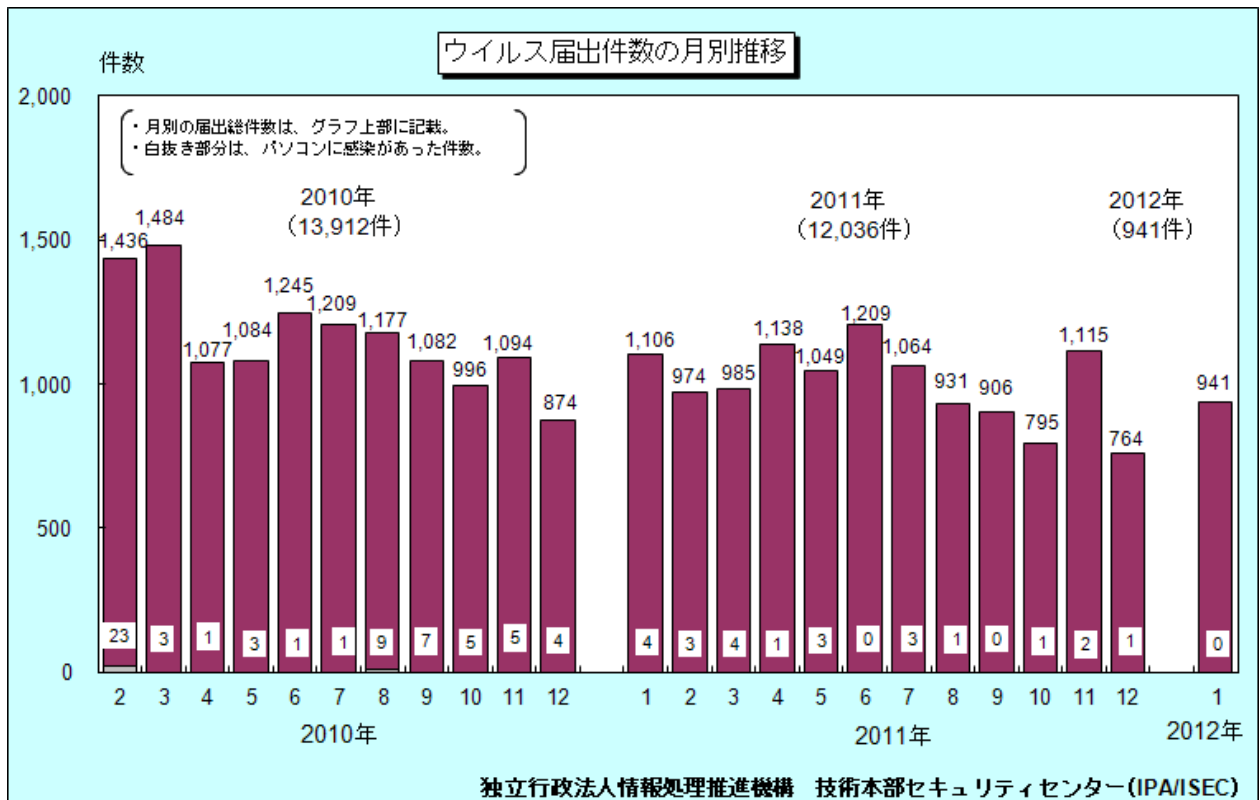


コンピュータウイルスの届出状況 [2012年1月分] について

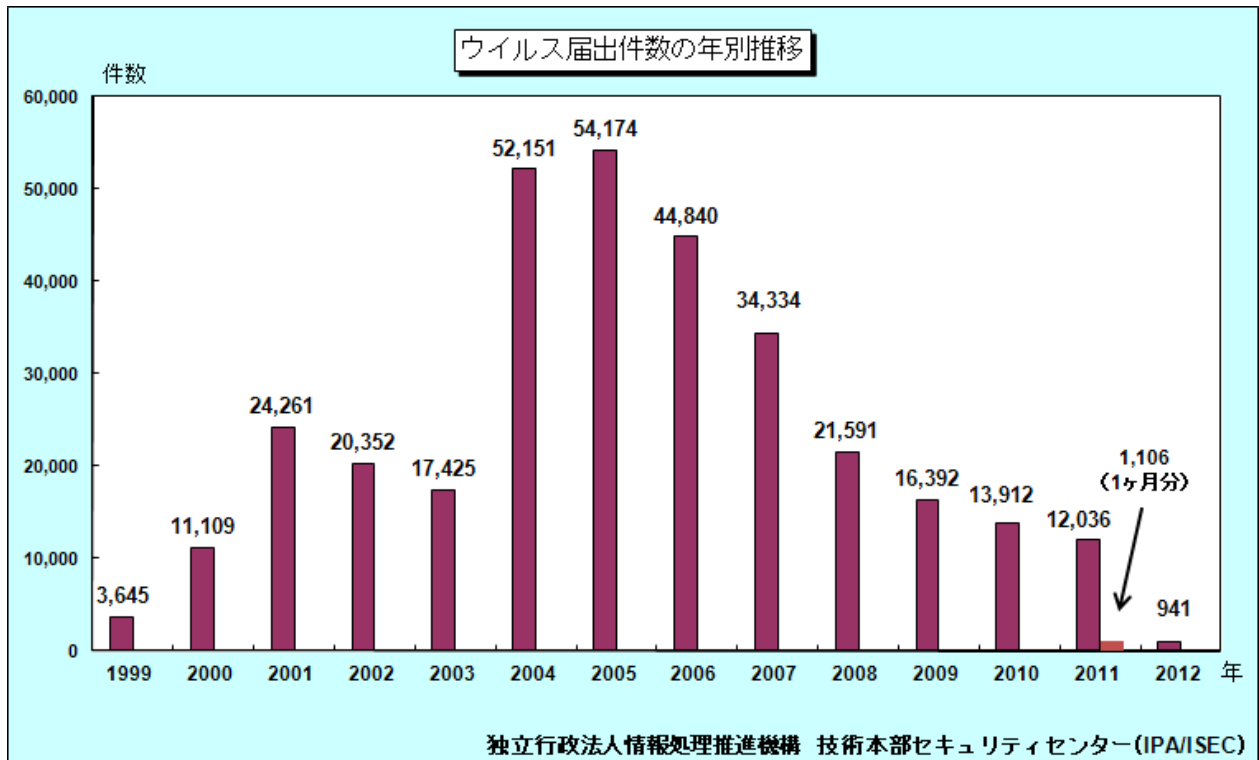
1. ウイルス検出数の月別推移



2. ウイルス届出件数の月別推移



3. ウイルス届出件数の年別推移



4. 1月の届出ウイルス

ウイルスの種類は 50 種類で、Windows/DOS ウィルス 891 件、スクリプトウイルス及びマクロウイルス 40 件、携帯端末のウイルス 10 件でした。

i) Windows

(※)印は今月の新種ウイルス

Windows/DOS ウィルス	届出件数	スクリプトウイルス	届出件数
W32/Mydoom	218	VBS/Freelink	7
W32/Netsky	206	VBS/Redlof	2
W32/Autorun	80	VBS/Solow	2
W32/Downad	67	VBS/LOVELETTER	1
W32/Mytob	65	VBS/Lido	1
W32/Sality	44		
W32/Bagle	38	小計 (5 種類)	13
W32/Mumu	34		
W32/Lovgate	23		
W32/Virut	14	マクロウイルス	届出件数
W32/Klez	14	XM/Laroux	18
W32/Gammima	13	XM/Slide	4
W32/Areses	7	W97M/Relax	2
W32/IRCbot	7	WM/Swlabs (※)	1
W32/Ramnit	7	WM/Cap	1
W32/Antinny	6	XF/Helpopy	1
W32/Fakerecy	6		
W32/Funlove	5	小計 (6 種類)	27
W32/Mywife	4		
Wscript/Fortnight	4		
W32/Dotex	4	ii) 携帯端末	届出件数
W32/Fujacks	3	AndroidOS/Lotoor	6
W32/Fbound	3	AndroidOS/Rootcage	3
W32/Mabezat	3	AndroidOS/Rooter	1
W32/Licum	2		
W32/Palevo	2	小計 (3 種類)	10
W32/Chir	2		
W32/Fizzer	2		
W32/Gramos (※)	1	iii) Macintosh	
W32/Stuxnet	1	なし	
W32/Stration	1		
W32/Allaple	1		
W32/Badtrans	1	iv) OSS (OpenSourceSoftware) : Linux・BSD	
W32/Parite	1	を含む、UNIX	
W32/Rontokbro	1	なし	
W32/Sohanad	1	(参考)	
		・ Windows/DOS ウィルス	
		Windows、MS-DOS 環境下で動作するウイルス。	
		・ マクロウイルス	
		Microsoft Word や Microsoft Excel などのマクロ機能を悪用するウイルス。	
		・ スクリプトウイルス	
		機械語への変換作業を省略して実行できるようにした簡易プログラムで記述されたウイルス。	
小計 (36 種類)	891		

備考：件数には亜種の届出を含む

注) ウイルス名欄での各記号はそれぞれ下記の内容を示す。

記号	対象ウイルス
W32	Windows32 ビット環境下で動作
XM	Microsoft Excel95、97 (ExcelMacro の略)
WM	Microsoft Word95、97 (WordMacro の略)
W97M	Microsoft Word97 (Word97Macro の略)
X97M	Microsoft Excel97 (Excel97Macro の略)
VBS	VisualBasicScript で記述
Wscript	WindowsScriptingHost 環境下で動作 (VBS を除く)
AndroidOS	AndroidOS 環境下で動作
XF	Microsoft Excel95、97 で動作するウイルス。(ExcelFormula の略)

5. 1月にIPAに初めて届出のあったウイルスの概要

(1) W32/Gramos (グラモス)

このウイルスは、ネットワーク共有フォルダを利用して感染を拡大します。

感染すると、自分自身を System ディレクトリにコピーし、レジストリファイルを変更することによって、Windows の起動時に必ずウイルスが実行されるように設定します。また、特定のサイトからトロイの木馬型ウイルスをダウンロードします。

(2) WM/Swlabs (エスダブルラブス)

このウイルスは、日本マイクロソフト社の Word (以下 MSword) を介して感染するウイルスです。

感染した Word ファイルを開くと、標準テンプレートファイルに感染し、それ以降開かれた Word ファイル全て (新規に作成するファイルも含む) に感染を拡大します。さらに MSword の機能である、「ファイル/テンプレート」と「ツール/マクロ」のメニューを削除してしまいます。

6. 届出者別件数

一番多い届出は、一般法人ユーザからのもので、95%を占めています。

届出者	届出件数					
	2012年1月		2011年12月(前月)		2011年1月(前年同月)	
一般法人ユーザ	894	95.0%	718	94.0%	1,008	91.1%
個人ユーザ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
教育機関	47	5.0%	46	6.0%	98	8.9%
合計	941		764		1,106	

7. 感染(発見)経路別件数

メールにより感染(発見)したケースが最も多く、届出件数の90%を占めています。

感染(発見)経路	届出件数					
	2012年1月		2011年12月(前月)		2011年1月(前年同月)	
メール	847	90.0%	685	89.7%	1,046	94.6%
ダウンロード(※)	11	1.2%	9	1.2%	1	0.1%
外部からの媒体	0	0.0%	0	0.0%	5	0.5%
ネットワーク	83	8.8%	69	9.0%	53	4.8%
不明・その他	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%
合計	941		764		1,106	

(※) ホームページからの感染を含む

8. 感染台数

感 染 台 数	届 出 件 数					
	2012 年 1 月		2011 年 12 月 (前月)		2011 年 1 月 (前年同月)	
0 台	941	100.0%	763	99.9%	1,102	99.6%
1 台	0	0.0%	0	0.0%	4	0.4%
2 台以上 5 台未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 台以上 10 台未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10 台以上 20 台未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20 台以上 50 台未満	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
50 台以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	941		763		1,106	

・コンピュータウイルスに関する届出制度について

コンピュータウイルスに関する届出制度は、経済産業省のコンピュータウイルス対策基準に基づき、平成 2 年 4 月にスタートした制度であり、コンピュータウイルスを発見したものは被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を IPA に届け出ることとされています。

IPA では、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータウイルス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

○コンピュータウイルス対策基準

- ・通商産業省告示第 139 号 平成 2 年 4 月 10 日制定
- ・通商産業省告示第 429 号 平成 7 年 7 月 7 日改訂
- ・通商産業省告示第 535 号 平成 9 年 9 月 24 日改訂
- ・通商産業省告示第 952 号 平成 12 年 12 月 28 日改訂
- ・経済産業省告示第 2 号 平成 16 年 1 月 5 日改訂

■お問い合わせ先

IPA 技術本部 セキュリティセンター 加賀谷／宮本
 Tel:03-5978-7591 Fax:03-5978-7518
 E-mail: isec-info@jpa.go.jp